

生育速報

稲作農家各位

令和元年6月7日(金)
JAにいがた岩船
営農経済部営農指導課

好天が続き早期に茎数が確保できています！5/10 前後植えのコシヒカリではすでに中干し可能です(田植後 25~27 日)！早生品種は圃場により生育差がありますが、概ね田植後 28~30 日で中干しできています。下表 2 を参考に適期の中干しを実施してください！

【表 1 6月6日(木)生育調査結果(茎数のみ)】

調査場所	田植時期	品種	栽植密度(株/坪)	茎数		中干し開始適期	田植~適期中干しまでの日数
				本/株	本/m ²		
鵜渡路	5/9	コシヒカリ	60	17	309	6/5	25
瑞雲	5/11	コシヒカリ	50	18	273	6/7	27
大場沢	5/11	コシヒカリ	60	17	309	6/5	25
黒田	5/12	コシヒカリ	50	17	273	6/7	26
猿沢	5/12	コシヒカリ	50	13	197	6/11	30
上中島	5/15	コシヒカリ	50	13	197	6/11	27
早稻田	5/18	コシヒカリ	60	9	164	6/13	26
高根(越渡)	5/20	コシヒカリ	60	6	109	6/18	29
大須戸	5/23	コシヒカリ	50	4	61	6/23	31
十川	5/5	こしいぶき	60	23	419	6/3	29
石住	5/3	新潟次郎	60	16	291	6/11	39
布部	5/10	つきあかり	60	14	255	6/11	32
笹平	5/2	ちほみのり	70	34	720	5/30	28

■ この時期の稲は 1株あたり5日で3~4本増える(植込み本数分) ので稲の茎数を実際に確認し、中干し開始時期を決定しましょう。 中干し時期は 目標穂数の80%を確保した時 です。

【表 2 品種別中干し開始時期の目安】

品種名	目標穂数(本/m ²)	本/m ²	中干し開始時期		
			1株あたりの茎数		
			50株植	60株植	70株植
コシヒカリ	350	280	18	15	13
こしいぶき	350	280	18	15	13
五百万石	320	260	17	14	12
こがねもち	350	280	18	15	13
新潟次郎	450	360	24	20	17
ゆきみのり	440	350	23	19	17
つきあかり	400	320	21	18	15
ちほみのり	570	450	30	25	21
ゆきん子舞	440	350	23	19	17
あきだわら	370	300	20	16	14
新之助	400	320	21	18	15

裏面：中干し・溝切りの効果について

■ 中干しが遅れると未熟粒が多発し、品質低下を招きます。生育量が不足している圃場でも田植後 35 日には中干しを開始しましょう。

【表 3 中干し時期と乳心白の発生（H11 年佐渡農技）】

中干し時期	発生率 (%)		
	乳白粒	心白粒	合計
早期 (5/31)	4	0.7	4.7
標準 (6/9)	8.4	0.6	8.9
遅期 (6/21)	9.5	2.2	11.7

■ 溝切りが実施されることで、下位節間の伸長を抑え、稈長（伸長する節の合計）が短くなり倒伏が軽減されます。また、灌水・排水が容易となり、管理性が向上することで実収にも影響します。

【表 4 溝切りの効果（S61 年山形農試）】

	成熟時				
	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	実収 (kg/10 a)	比率 (%)
無作溝	80	17.9	486	544	100
5mおき作溝	78	17.4	523	566	104
2mおき作溝	77	16.9	547	587	108



溝切り作業は、大変な労力を要しますが、労力に見合った高い効果が期待できますので、可能な限り徹底していただくようお願いいたします！

■ 生育が並以下の圃場で「強い中干し（大ヒビ、田面が乾いて白くなる）」を行うと、幼穂形成期以降の葉色低下を招き、高温年においては基部未熟粒の発生を助長するため、小ヒビが入る程度としてください。



強い中干しは注意が必要



適期中干しで品質向上！

■ 中干しは出穂 1 ヶ月前には終了してください。出穂 1 ヶ月前以降の中干しは整粒歩合低下を招きます。

中干し管理やその他営農相談については、営農経済部営農指導課（旧北部営農センター）までお問合せください。 TEL 0254-53-2022